

最新映像技術「VDR」搭載プロジェクターを導入 高品質な映像体験と効率的な劇場運営の両立へ

株式会社ヒューマックスエンタテインメント(本社:東京都新宿区)は、このたび成田HUMAXシネマズ シネマ1劇場において、最新映像技術「VDR(Variable Dynamic Range)」に対応したプロジェクターへの更新を実施いたします。

VDRは、映像の各フレームをリアルタイムで解析し、シーンごとにレーザー出力を最適化する映像技術です。これにより、より深い黒表現と高いコントラストを実現し、映像の奥行き感や臨場感を向上させます。

映画作品において、暗部の表現や光の演出は映像体験を左右する重要な要素です。今回の更新により、夜景や宇宙空間、ライブ映像、アクションシーンなどにおいて、より没入感のある映像表現をお客様へ提供いたします。

また、本技術は映像品質向上に加え、レーザー出力の最適化による消費電力の削減や機器負荷軽減にも寄与し、効率的な劇場運営を支援します。

VDR導入の主な特長

【映像品質向上】

- ・最大10,000:1の高コントラスト表現
- ・黒表現の向上による奥行き感・没入感向上
- ・映像の質感やディテールの向上

【設備効率向上】

- ・レーザー出力最大30%低減
- ・上映時の消費電力を約8~15%削減
- ・レーザー寿命最大70,000時間

【運用負荷軽減】

- ・既存上映コンテンツをそのまま利用可能
- ・特別なコンテンツマスタリング不要
- ・新たな運用負荷を最小化

コメント

「今回の更新では、お客様により高品質な映像体験を提供するとともに、効率的な設備運用の実現も目指しています。今後も新しい技術を積極的に取り入れながら、映画館ならではの体験価値向上に努めてまいります。」

株式会社ヒューマックスエンタテインメント